

# 和歌山県の都市政策の基本方針

【概要版】

(素案)

令和 8 年 月

和歌山県

# 序章 はじめに

今、私たちを取り巻く社会経済状況は大きく変化しており、人口減少や少子高齢化の加速、災害リスクへの対応等、都市づくりに求められるものは多様化・複雑化しています。

本方針は、こうした状況を乗り越え、将来においても安全で安心に生活できる持続可能な都市づくりの方向性を示すものになります。

県・市町村との連携を強化するとともに、多様な主体との連携により、共に都市づくりを考え、将来に向かって子どもたちが住み続けることができる持続可能な都市の実現を目指します。

計画期間は県総合計画に合わせ2040年とします。

## 【位置づけ】

- 第三次国土形成計画（全国計画）
- 和歌山県総合計画

踏まえ

## 和歌山県の都市政策の基本方針（任意）

県全域を対象とした都市づくりの方向性を示すもの

即し

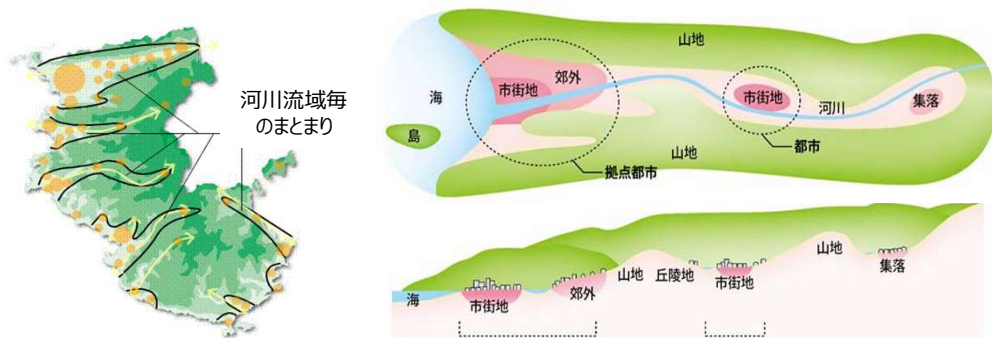
## （5圏域別）都市計画区域マスタープラン（法定）

都市計画区域の整備、開発及び保全の方針

## 「目指すべき県土構造」

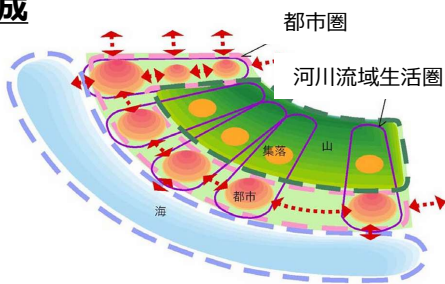
### ①河川流域生活圏の形成

河川流域毎にまとまりのある生活圏が形成されてきた特色を活かし、下流、中流、上流域のそれぞれの都市が緊密に交流する河川流域生活圏の形成を目指します。



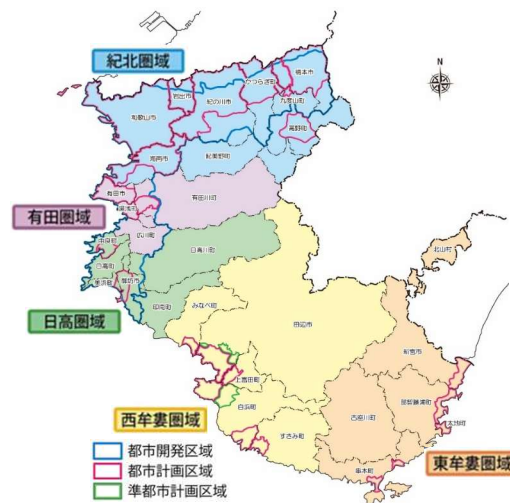
### ②有機的なネットワークによる都市圏の形成

河川流域生活圏の下流域に位置する都市では、河川流域生活圏の核となる都市の形成を目指すとともに、海沿いに連なる各都市等をつなぐことで、河川流域毎の連携を強化し、相互補完と多様性を持ち、有機的につながった都市圏の形成を目指します。



## 【5圏域の区域マスタープラン】

県内を5つの圏域に分けて、各圏域における広域的な都市づくりに取り組みます。



## 第1章 全国的な都市を取り巻く状況と和歌山県の都市づくりの課題

### 1.社会構造の変化

#### ①人口動態の変化

・人口減少下における生活利便性の低下、財政資源の制約

#### ②技術革新等によるライフスタイルの多様化、ウェルビーイング向上

### 2.災害リスク

#### ①地震・津波による被害

#### ②気候変動の影響による自然災害の激甚化・頻発化

### 3.都市のマネジメント

#### ①加速度的に進行するインフラ老朽化

#### ②人口減少や若者の地方離れといった都市の活力低下

#### 【課題】

- ・都市機能の集約化と地域公共交通の再構築
- ・都市の効率的な更新に支障となる空き地・空き家等の低未利用地対策

#### 【課題】

- ・被災時の被害の軽減、被災後の迅速な都市づくりの準備
- ・脱炭素、循環型社会の実現

#### 【課題】

- ・戦略的なインフラマネジメント
- ・一の市町村域を越える広域的なマネジメント
- ・官民連携による持続可能な都市経営の実現

## 第2章 都市づくりの基本理念・目標と目標達成のための戦略・取組

### 〈基本理念〉 きのくにらしい寛容性のある持続可能な共創の都市づくり

#### 目標1 人口減少、少子高齢化に対応した持続可能な都市づくり

人口の急激な減少や高齢化が進む中においても、県民一人ひとりのウェルビーイングを高め、多様な価値観に対応する各地域の特色に応じた多様な地域が形成され、それぞれの地域が緊密に連携する都市づくりを推進します。

- 戦略1 持続可能な都市経営を実現するための都市構造への転換と魅力ある都市空間の形成
- 戦略2 人や地域がつながりあう多様な交通ネットワークの形成
- 戦略3 自然や歴史・文化などを活かした、地域の価値と魅力の向上
- 戦略4 多様な生活スタイルに対応した、健康で快適に過ごせる市街地や地域の中心地の形成

#### 目標2 災害に強い安全・安心な都市づくり

南海トラフ地震や気候変動による自然災害の激甚化・頻発化に対応するため、関係機関の連携を強化するとともに、官民連携による防災・減災のための住まい方や土地利用を踏まえたインフラ施設の整備など、ハード・ソフト一体となった都市づくりを推進します。

- 戦略1 地震や津波等に強い都市の形成
- 戦略2 災害に強い道路・交通ネットワークの確保

#### 目標3 自然や文化、産業などの地域の特性を活かした都市づくり

和歌山県が有する歴史・文化や景観、自然等の地域固有の資源を保全し、地域の特性を活かした産業の創造性や生産性を高め、地域そのものの魅力を高めるとともに、稼ぐ力の向上を図るなど、地域固有の魅力に根ざす都市づくりを推進します。

- 戦略1 和歌山県らしい景観の保全・創造と継承
- 戦略2 地域資源の保全・活用による、地域産業の創造性や生産性の向上
- 戦略3 交流拠点を結び、地域の魅力を高める交通ネットワークづくりの推進

#### 目標4 環境に配慮した都市づくり

脱炭素に向けた地球温暖化緩和策のみならず、気候危機に対応した防災・減災・国土強靱化等の観点からの気候変動適応策等に戦略的に取り組む必要があります。さらに、自然共生社会や循環型社会の形成も含めたグリーン社会の実現に向けた都市づくりを推進します。

- 戦略1 環境負荷が小さい都市構造への転換
- 戦略2 自然と共生する都市づくりの推進
- 戦略3 脱炭素、循環型社会を支える都市づくりの推進

#### 目標5 協働による都市づくり

人口減少下においては、既存ストックや現に存在する地域資源をいかに活用し、都市を育てるかというマネジメントの視点から、地域を支える様々な主体との連携により、都市の機能を維持し、地域の価値、魅力を高めていく都市づくりを推進します。

- 戦略1 多様な主体の連携・協働によるマネジメントの推進
- 戦略2 共に地域を考え創る、居心地の良い市街地空間の創出

#### 目標6 新たな技術を活かした都市づくり

インターネットやIoT、AI、デジタルツイン技術等を活用し、多様化する都市課題に対応した豊かな生活、多様な暮らし方・働き方を支える人間中心の都市づくりを推進します。

- 戦略1 デジタル活用による持続可能な都市マネジメントの推進
- 戦略2 都市インフラ・サービスへのスマート技術導入の推進
- 戦略3 次世代モビリティの導入促進による快適な移動環境の創造

# 第3章 広域連携による都市づくりの推進

## 【都市政策の方向性】

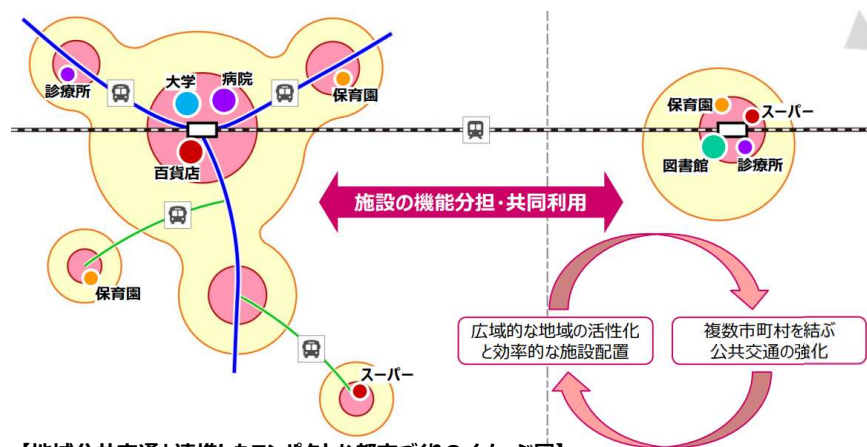
コンパクト・プラス・ネットワークによる持続可能な都市経営の実現  
・関係施策と連携しつつ、居住や都市機能のゆるやかな誘導により密度の経済性の発揮を目指します。

## 【問題点】

全国に比べ急速な人口減少の進行が予測される本県では、単一の市町村では対応が困難な課題が増加されることが予測されます。

## 【広域連携による都市づくりの推進】

複数の市町村からなる広域的な生活圏域において地域の活性化や効率的な施設整備を図り、防災や交通、公共施設等の総合管理といった様々な分野にわたる広域的な課題解決を図ります。

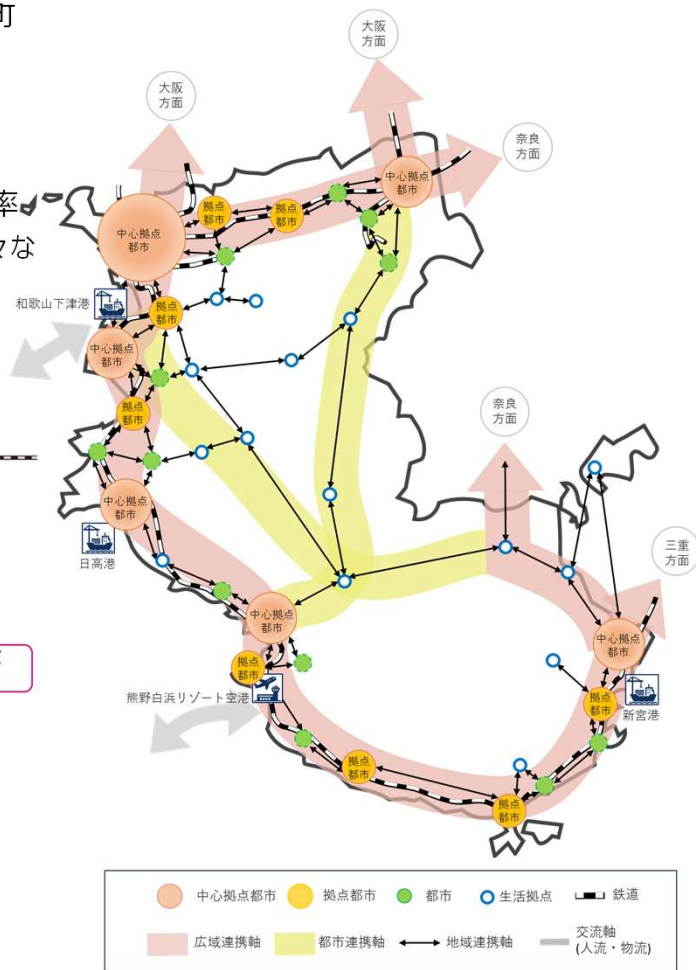


【地域公共交通と連携したコンパクトな都市づくりのイメージ図】

出典：国土交通省「立地適正化計画の手引き【資料編】」

## 【目指す県土の骨格構造】

これまでの都市形成や交通ネットワークの状況等を踏まえ、それぞれの地域の特性を最大限に活かし有機的につながった県土構造を目指し、県土全体において都市機能やサービスが効率的に提供される持続可能な共創の都市づくりを推進します。



# 第4章 指標の設定

定量的な都市の状況や客観的な判断による広域的な課題等を把握するため、都市を評価する指標を設定し、持続可能な共創の都市づくりを推進します。

## 【評価指標の選定】

都市づくりの6つの目標を踏まえつつ、コンパクトな都市づくりに期待される『効果（直接・間接）』と、これに向けた『施策の取組状況』から、評価指標を大きく3カテゴリーに分類のうえ整理します。

## 【効果的な都市計画基礎調査の実施】

都市計画区域マスタープランに設定する評価指標以外にも、県が実施する都市計画基礎調査において調査項目を検討のうえ調査を実施し、データ整備、分析、市町村への提供を行い、計画の作成や適切な見直しに活用するものとします。

和歌山県の都市政策の基本方針【概要版】（令和8年 月）

編集・発行：和歌山県県土整備部都市住宅局都市政策課  
〒640-8585 和歌山市小松原通一丁目1番地  
TEL:073-441-3231 FAX:073-441-3232